

王子公園再整備基本方針（素案）

見直しに向けた、市の考え方と方向性について

王子公園再整備基本方針（素案）について、令和3年12月10日～令和4年1月17日にかけて市民意見募集を実施した結果、様々な観点から多くのご意見をいただき、動物や景観などへの影響を懸念する声、王子公園への愛着などから既存施設の存続を望む声が寄せられました。

このような市民の声を重視し、基本方針（素案）の見直しに向けた「市の考え方」及び「王子公園内の施設の方向性」について再検討しました。

今後、これらをもとに、市民から直接ご意見やご提案をいただく場を設けながら、基本方針（素案）の見直しを進めます。

なお、見直した基本方針（素案）については、あらためて市民意見募集を行う予定です。

1. 見直しに向けた市の考え方

(1) 再整備の背景、意義

- ① 王子公園内の多くの施設が老朽化しているなど大規模修繕・更新が必要な時期を迎えています。
- ② 王子公園周辺エリアが古くから「原田の森」として育まれた歴史を踏まえ、神戸を代表する現在の景観を大切に守りながら、動物園やスタジアムなど王子公園内の各施設を適切に維持・更新し、将来の世代へ確実に継承していく必要があると考えています。
- ③ 持続可能な神戸の発展には、若年定住・交流人口の増加、都市ブランドの向上を実現することが不可欠であり、再整備にあたっては、「市域全体への貢献」と「近隣地域への貢献」の両立を果たしていくことが必要であると考えています。

※市域全体への貢献：まちの質・くらしの質・都市ブランドの向上、人口誘因等

※近隣地域への貢献：地域の賑わいづくり、地域商業などへの経済効果、周辺住民の生活の質の維持・向上等

(2) ゾーニングについて

ゾーニングにおいては、誰もが憩い、くつろげる一般に開放された空間を拡大すること、ゾーン間の物理的つながりと視覚的な拡がり確保することを重視し、より開放的な公園として再整備することを目指します。

- ① 王子公園駅に隣接する利便性の高い場所にある現在の平面駐車場の配置を見直し、各ゾーンとの結節点となる開放的な空間として「緑の広場」を駅前に整備します。
- ② 大学ゾーンについては、キャンパス内の「オープンスペース」と「緑の広場」が一体となることで、開放感のある魅力的な空間を創出できることから、緑の広場に隣接して配置します。
- ③ 駐車場については、遊園地の位置から補助競技場（サブグラウンド）の位置に変更します。あわせて進入路を東側に変更し、従来の駐車場や進入路による分断感を解消します。
- ④ 緑の景観軸として、緑の広場から王子公園内の各ゾーンを結ぶシンボルプロムナードを整備し、快適な歩行者動線として周辺地域をつなぎます。

- ⑤ 動物園については、位置を大きく変更することなく現在と同程度の敷地面積を確保します。
- ⑥ スポーツゾーンについては、既存の体育館や弓道場が立地する王子公園北側に施設を集約することで、空間的にも機能的にも使いやすいエリアを創出します。

(3) 見直しの進め方

- ① 基本方針（素案）について、今後、市民の皆さまから直接ご意見やご提案をいただく場を設けながら見直しを進めます。その際に、見直しに向けた、市の考え方と方向性（本資料）について、詳しくご説明します。
- ② 王子公園再整備に関する検討状況については、広報紙KOBEや市ホームページなどを活用し、随時お伝えしていきます。

2. 各施設の見直しの方向性

(1) 動物園

- ① 再整備にあたって、動物園と遊園地をあわせて、現在と同程度の敷地面積を確保します。
- ② 動物福祉の観点から、「公益社団法人日本動物園水族館協会」が策定している、必要な飼育面積や設備などの事項を盛り込んだ「飼育ガイドライン」に沿った獣舎等施設の更新や展示方法の導入を行うとともに、来園者の利便性の向上を図ります。
- ③ 動物園の運営においては、種の保存・環境教育・調査研究といった、公益的な事業として果すべき役割が大きいため、今後も民営化することなく神戸市が公の施設として責任を持って運営していきます。
- ④ 公立動物園として、利用しやすい料金で運営していきます。

(2) 遊園地

- ① 再整備にあたって、動物園と遊園地をあわせて、現在と同程度の敷地面積を確保します。
- ② 動物園には種の保存や環境教育などの機能が求められており、レクリエーションを含めた機能を動物園全体で充実させることとし、遊園地については、現在の施設への市民の愛着にも配慮しながら、動物園にふさわしいレクリエーション施設を検討します。

(3) 駐車場

- ① 現在、動物園には約半数の方が車で来園されており、今後も駐車場は必要と考えています。
- ② 駐車場の配置は、遊園地の位置から補助競技場（サブグラウンド）の位置に変更します。
- ③ 駐車場への進入路は公園東側の現在の遊歩道部へ変更し、あわせて魅力的な歩行者空間を備えた動線を確保します。
- ④ 駐車場は、限られた土地の有効活用という観点から、立体化して集約し屋上の一部をスポーツゾーンとして活用します。
- ⑤ 立体駐車場の整備にあたっては、壁面緑化や植樹などにより、周辺環境や六甲山系の山並みにも配慮した景観形成を図ります。

(4) 大学

- ① 市内の若年人口減少が進むなか、神戸に住み働き学ぶ若年層を増やすためには、大学誘致は非常に有力な施策であり、「市域全体への貢献」と「近隣地域への貢献」の両立を果たすことができると考えています。
- ② 市域全体では、王子公園周辺の文教エリアとしてのポテンシャルを活かした優秀な人材の確保・育成・輩出、イノベーション機能の強化、国際性・多様性の創出により、都市ブランド力の向上等が期待できます。
- ③ 近隣地域では、学生・大学関係者など、昼間・夜間人口や王子公園駅の利用者の増加により、地域商業などへの高い経済効果や周辺地域の賑わいが創出されます。また、高齢化による担い手不足の解消や学生の社会貢献、地域活動への参加、学びなおし（リカレント教育）の機会の提供などが期待できます。
- ④ 『神戸 2025 ビジョン（令和3年4月）』では「海と山が育むグローバル貢献都市」をテーマとし、市民一人ひとりが安心安全で心豊かに幸せを実感できる生活を享受でき、将来を担う若者が輝き、活躍できる持続可能な社会を築くことを目指しています。次世代を担う子どもや若者など、グローバルに活躍できる人材を神戸で育てるという観点から、大学が果たす役割は大きいと考えており、地域に開かれた競争力の高い大学を誘致していきます。
- ⑤ 敷地面積について、当初の素案の約4haから約3.5haとします。

(5) スタジアム・補助競技場

- ① 新スタジアムのフィールドについては、アメリカンフットボールに限らず、サッカーやグランドゴルフ、ラクロス、運動会や地域のイベントなど、引き続き幅広い競技・用途で利用いただけるよう運用します。
- ② 現在、陸上トラック等で部活動などの練習利用があることを踏まえ、新スタジアムには、練習用の400mトラック（4レーン）を整備します。
- ③ 新スタジアムについては、フィールド・トラックともに一般開放の時間帯を設定します。
- ④ 補助競技場に代え、引き続き、王子公園内でラジオ体操やジョギングなどを行える機能を確保することとし、整備内容を検討します。

(6) プール

- ① 王子プールは廃止しますが、新ポートアイランドスポーツセンターの50mプールに可動床を導入するとともに、現在の8レーンから10レーンに増やします。年間を通して利用可能な25mプールについても、現在の5レーンから8レーンに増やし、遊泳など一般の皆様に利用しやすくします。
※可動床：子どもが遊泳できる水深から競技用の水深まで調整が可能
- ② 幼児用プールの機能確保として、緑の広場に子どもたちが水遊びできる親水施設を整備します。

(7) テニスコート

- ① 市内のテニスコートの立地状況等を踏まえ、ポートアイランドに新たに6面整備します。
- ② 王子公園近隣の方の利用に配慮し、王子公園内（スポーツゾーン）に2面確保します。

(8) 緑の広場

- ① 王子公園駅に隣接するエリアについては、現在、駐車場として利用されており、駅前の貴重な空間として有効な土地利用ではないと考えています。誰もが憩い、くつろげる、一般に開放された空間として、各ゾーンとの結節点となる多目的に活用できる広場を設けることが望ましいと考えています。
- ② 「緑の広場」として位置づけを明確化し、ラジオ体操や地域活動、大学との交流に活用できる多目的な芝生広場をはじめ、子どもたちが遊べる遊具や水遊びのできる親水空間、公園の利用を促進するにぎわい施設などを設置します。
- ③ ユニバーサルデザインや管理コストに配慮した持続可能な施設、緑豊かな王子公園の自然・歴史資産を活かした整備内容となるよう検討します。

(9) ちびっこ広場・わんぱく広場

- ① スポーツゾーン内で一体的にリニューアルし、新たな遊具の設置やラジオ体操等の多目的に利用できる広場の整備など、子どもから大人まで楽しめるよう機能の充実を図ります。

(10) 相撲場・登山研修所

- ① 相撲場は廃止し、王子公園外の既存施設を活用します。
- ② 登山研修所は、クライミング施設も含めスポーツゾーン内で移転新設します。

(11) 防災機能

- ① 王子公園は広域防災拠点に位置づけられており、引き続き、避難場所の確保や災害活動の拠点としての機能を十分発揮できるよう、ヘリ離発着機能、災害時の物資の集積・備蓄機能等、防災機能の維持向上策について施設の設計とあわせて検討します。

(12) その他

- ① 出来る限り桜の保存に努めます。老木化した桜など移植が難しい場合は、後継となる桜を植栽するなど、引き続き桜の名所として景観を維持していきます。
- ② 再整備にあわせて、王子公園駅からの歩行者動線をはじめ、周辺施設との回遊性のあり方も含めて検討します。

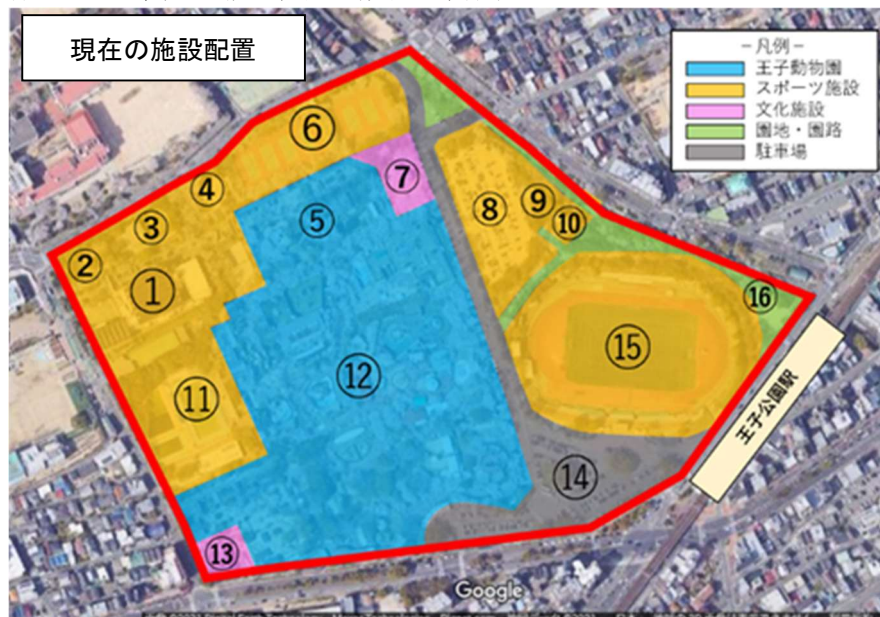
<各施設の見直しの方向性（一覧）>

施設	当初の素案	見直しの方向性		施設番号
		方針	内容	
動物園（獣舎等）	再整備	再整備	動物園と遊園地をあわせて現在と同程度の敷地面積を確保	⑤⑫
動物園（遊園地）	廃止			
駐車場	再整備 (遊園地跡地)	再整備	動物や景観に配慮し、補助競技場跡地に整備 屋上の一部をスポーツゾーンとして活用	⑭
大学	新設	新設	敷地面積を約4haから約3.5haに変更	-
スタジアム（フィールド）	再整備	再整備	フィールド及び練習用400mトラック（4レーン）整備 新スタジアムで一般開放の時間帯を設定	⑮
スタジアム（トラック）	廃止			
補助競技場	廃止	機能確保	緑の広場やスポーツゾーン内に多目的に利用できる広場を整備 新スタジアムで一般開放の時間帯を設定	⑧
プール （50m・25m）	廃止	廃止 (園外施設の充実)	新ポートアイランドスポーツセンター50mプールの可動床の導入及び50m・25mプールのレーン増設により一般利用を促進	⑪
プール（幼児用）	廃止	機能確保	緑の広場に水遊びができる親水施設を新設	
テニスコート	廃止	代替	ポートアイランドに6面新設	⑥
		再整備	王子公園内（スポーツゾーン）に2面確保	
エントランス	新設	新設	「緑の広場」として位置づけを明確化	-
ちびっこ広場	存続	再整備	スポーツゾーン内で一体的に整備し機能を充実 (新たな遊具、多目的に利用できる広場等)	②
わんぱく広場	廃止			④
相撲場	存続	廃止	王子公園外の既存施設を活用	⑨
登山研修所	存続	再整備	スポーツゾーン内へ移転新設	⑩
体育館	存続	存続	-	①
弓道場				③
旧ハンター住宅				⑦
神戸文学館				⑬
原田児童館				⑯

再整備：王子公園内に従前の施設をリニューアルするもの

代替：王子公園外に従前と同等の施設を確保するもの

機能確保：王子公園内に概ね従前の機能を確保するもの



《参考：ゾーニング》

■当初素案



■「各施設の見直しの方向性」を反映

